

1 ▶ 1 佐世保市総合計画審議会の委員の役割



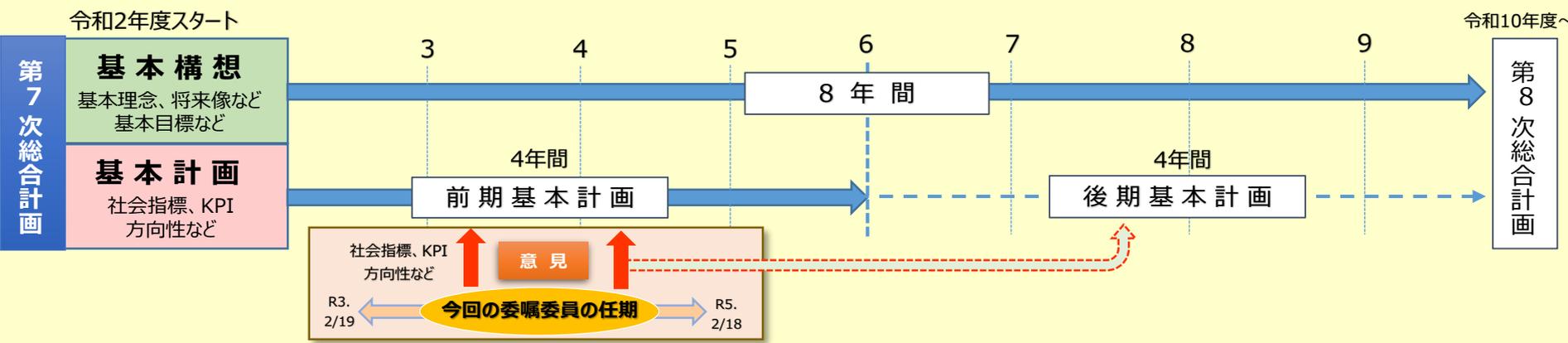
1 総合計画審議会の設置目的（概要）

総合計画審議会の設置目的は、次のとおりである（佐世保市総合計画審議会条例第1条）。

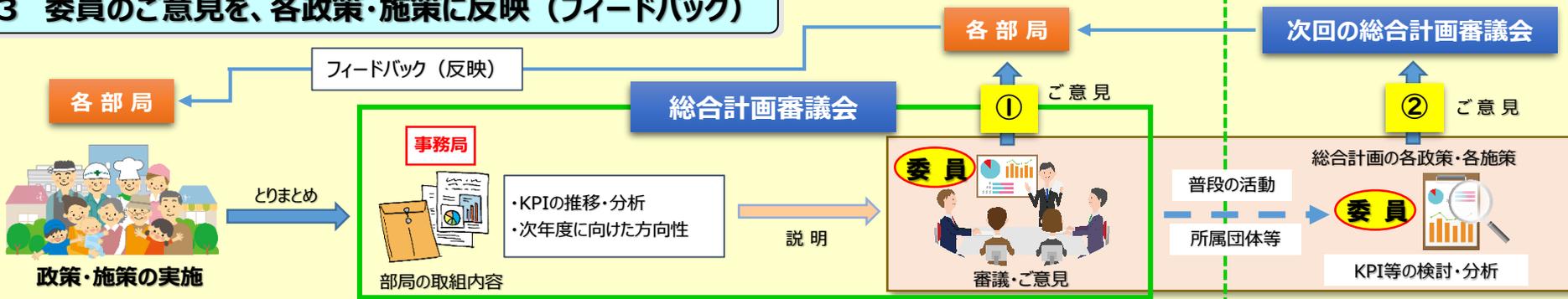
- ① 基本構想の策定・変更に関することに対して、ご意見をいただく。
- ② 総合的かつ計画的行政の推進（総合計画の推進）について、ご意見をいただく。

2 現在委嘱されている委員の役割

現在委嘱されている委員の役割は、主に「②総合計画の推進」について、ご意見をしていただくこと。



3 委員のご意見を、各政策・施策に反映（フィードバック）



【しごと】観光商工政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命
	現状値 (※H30)	目指す方向	
人や財が流入・交流する活力ある産業のまち	市内総生産 (第2次・第3次産業)		将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を目的としています。
	737,540百万円 (H28)	→	

あんなこともしてみたら？ 審議会 こんな視点もあるのでは？



改善の方向性
本市の施策も、こんなことを目指しては？

施策名	KPI（重要業績評価指標）						主な取組 ★は地方創生推進交付金の対象事業	次年度に向けた主な改善の方向性
	R2目標値	R2実績値	R2達成度 (%)	参 考				
				R3目標値	R4目標値	R5目標値		
【施策1】 観光の振興	観光消費額【百万円】						<ul style="list-style-type: none"> ●観光客誘致促進事業 ●観光地域づくり推進事業 ●観光標識等整備事業 ●公共宿泊施設管理事業 ●動植物園管理運営事業 	【重点化】 ●観光客誘致促進事業 ・ビッグデータの活用等によるデータ分析を行うと共に、インターネットやSNSなどのデジタルメディアでの情報発信を推進し、適切に顧客に響くコンテンツづくりとプロモーションに努めます。 ・佐賀長崎デスティネーションキャンペーンの実施によって、大規模なプロモーションが見込まれることから、武雄市、嬉野市等からの誘客施策を検討します。 ●観光地域づくり推進事業 ・文化財の魅力づくりとして、各部局と連携し文化財を活用したユニークイベントの検討を行います。 ●動植物園管理運営事業 ・ソフト事業を重視した魅力アップを行うことで、市内リピーター及び近隣県を中心とした集客増を図るとともに、九十九島観光公園への移転についての検討を深めます。
	105,654	44,029	41.7%	108,619	111,502	114,426		
	KPI達成状況の分析							
	●新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言の発出や不要不急の外出自粛、渡航制限など繰り返す感染拡大により、観光にとっては年間を通して大変厳しい状況が続きました。その結果、観光客がおおよそ半数（54.5%）まで減少しKPIを達成させることはできませんでした。							
【施策2】 地場企業の振興	利益を上げた企業の割合【%】						<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業経営支援事業 ●中小企業経営基盤強化事業 ●特産品の販路拡大事業 ●伝統産業振興事業 	【重点化】 ●産業コーディネート事業 ・「中小企業DX化、スタートアップ・ベンチャー支援」については、新分野進出が期待される事業者の掘り起こしと地方発DX企業の創出、事業意欲の高い事業者間のコミュニティ造成、県の創業支援事業との連動等に取り組みます。 ●特産品の販路拡大事業 ・従来からの特産品に加えて、ふるさと納税における返礼品と連携した新たなさざせば産品（伝統工芸品を含む）の創出やブランド力の向上に向けた取組みを推進します。
	46.2	42.0	90.9%	46.7	47.3	47.8		
	KPI達成状況の分析							
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、国のGoto施策等の経済支援策が奏功し、前回調査までは回復傾向にありましたが、令和2年12月頃の第三波の影響により、再び減少傾向となり、前回調査から引き続きコロナ禍前の状況まで回復していません。							
【施策3】 ふるさと納税制度の推進	ふるさと納税制度による寄附額【億円】						●ふるさと納税推進事業	【重点化】 ●ふるさと納税推進事業 ・活用中のポータルサイトとの連携や本市が既に有する寄附者情報の活用、ターゲット・エリアの絞り込みを行い、効率的かつ効果的な発信機会を確保するとともに、返礼品情報等の各ポータルサイト上の魅せ方についても改善を行います。
	22.0	20.9	95.0%	25.0	25.0	25.0		
	KPI達成状況の分析							
	●国内での全体寄附額は、前年度から増加しているものの、本市においては、寄附額が減少していることから、ふるさと納税における寄附の小口化と分散化が進んでいると考えられます。							
【施策4】 競輪事業収益の確保	競輪事業の事業収益額【千円】						●競輪事業	【重点化】 ●競輪事業 ・車券売上の向上と事業収益確保のため、通常開催以外のレースを誘致し開催します。令和4年度は佐世保競輪場では昭和48年以来2回目となる「全プロ記念競輪」を5月に開催します。
	644,000	948,907	147.3%	642,000	518,000	416,000		
	KPI達成状況の分析							
	●感染拡大防止策を講じながら本場開催を継続し、電話投票、インターネット投票の拡大により車券売上が大きく増加しました。（令和元年度約150億円→令和2年度約220億円） ●車券売上の増加に伴い、事業収益も増加しました。（令和元年度638,577千円→令和2年度948,907千円）							

1 ▶ 3 第7次佐世保市総合計画へのご意見について

委員名

担当分野名

(しごと・ひと・まち・くらし・行政経営の別)

【依頼内容】

・第7次佐世保市総合計画の基本計画のうち、各担当分野における

◆K P I (重要業績評価指標) ◆施策の方向性 ◆市民に求められる基本的な姿勢・役割 ◆民間の役割 など
についてご確認いただき、地域の実情、社会経済情勢と一致しているかなどの視点からご意見ください。

【回答期限：令和 年 月 日 ()】

意見の有無	総合計画 該当ページ	ご意見(回答欄)
-------	---------------	----------

有
・
無

※集約結果については次回審議会においてご確認、ご審議いただきます。

※ご審議、ご承認いただいた内容については、担当部局へフィードバックし各施策に反映させるなど、今後の総合計画の推進に活用させていただきます。